

幾春別川総合開発事業の検証に係る検討 報告書 (原案)

平成24年12月



国土交通省 北海道開発局

【注】

本報告書（原案）は、幾春別川総合開発事業の検証に係る検討にあたり、検討主体である北海道開発局が「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に沿って検討している内容を示したものであり、後に国土交通本省に報告する「対応方針（案）」を作成する前の段階における北海道開発局としての（原案）に相当するものです。

国土交通本省は、北海道開発局から「対応方針（案）」とその決定理由等の報告を受けた後、「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」の意見を聴き、対応方針を決定することになります。

幾春別川総合開発事業の検証に係る検討報告書（原案）

- 目次 -

1. 検討経緯	P.1-1
1.1 検証に係る検討手順	P.1-2
1.1.1 治水（洪水調節）	P.1-2
1.1.2 新規利水	P.1-3
1.1.3 流水の正常な機能の維持	P.1-4
1.1.4 総合的な評価	P.1-4
1.1.5 費用対効果分析	P.1-4
1.2 情報公開、意見聴取等の進め方	P.1-5
1.2.1 関係地方公共団体からなる検討の場	P.1-5
1.2.2 パブリックコメント	P.1-7
1.2.3 意見聴取	P.1-7
1.2.4 事業評価	P.1-7
1.2.5 情報公開	P.1-7
2. 流域及び河川の概要について	P.2-1
2.1 流域の地形・地質・土地利用等の状況	P.2-1
2.1.1 流域の概要	P.2-1
2.1.2 地形	P.2-4
2.1.3 地質	P.2-6
2.1.4 気候	P.2-8
2.1.5 流況	P.2-10
2.1.6 土地利用	P.2-14
2.1.7 人口と産業	P.2-15
2.1.8 自然環境	P.2-19
2.1.9 河川利用	P.2-23
2.2 治水と利水の歴史	P.2-24
2.2.1 治水事業の沿革	P.2-24
2.2.2 過去の主な洪水	P.2-31
2.2.3 利水事業の沿革	P.2-38
2.2.4 過去の主な渇水	P.2-40
2.2.5 河川環境の沿革	P.2-43
2.3 現状と課題	P.2-44
2.3.1 治水上の課題	P.2-44
2.3.2 利水の現状と課題	P.2-47
2.3.3 河川環境の整備と保全に関する現状と課題	P.2-48

2.4 現行の治水計画-----	P.2-57
2.4.1 石狩川水系河川整備基本方針の概要-----	P.2-57
2.4.2 石狩川水系における河川整備計画の概要-----	P.2-60
2.5 現行の利水計画-----	P.2-64
2.5.1 新規利水計画の概要-----	P.2-64
2.5.2 流水の正常な機能の維持の目標の概要-----	P.2-64
3. 検証対象ダムの概要-----	P.3-1
3.1 幾春別川総合開発事業の目的等-----	P.3-1
3.1.1 幾春別川総合開発事業の目的-----	P.3-1
3.1.2 名称及び位置-----	P.3-2
3.1.3 規模及び型式-----	P.3-3
3.1.4 貯留量-----	P.3-8
3.1.5 取水量-----	P.3-9
3.1.6 建設に要する費用-----	P.3-9
3.1.7 工期-----	P.3-9
3.2 幾春別川総合開発事業の経緯-----	P.3-10
3.2.1 実施計画調査着手-----	P.3-10
3.2.2 建設事業着手-----	P.3-10
3.2.3 基本計画告示-----	P.3-10
3.2.4 建設工事の着手-----	P.3-11
3.2.5 環境に関する手続き-----	P.3-11
3.2.6 これまでの環境保全への取り組み-----	P.3-11
3.3 幾春別川総合開発事業の現在の進捗状況-----	P.3-13
3.3.1 予算執行状況-----	P.3-13
3.3.2 用地取得-----	P.3-13
3.3.3 家屋移転-----	P.3-13
3.3.4 付替道路整備-----	P.3-13
3.3.5 ダム本体関連工事-----	P.3-14
4. 幾春別川総合開発事業の検証に係る検討の内容-----	P.4-1
4.1 検証対象ダム事業等の点検-----	P.4-1
4.1.1 総事業費及び工期-----	P.4-1
4.1.2 堆砂計画-----	P.4-5
4.1.3 計画の前提となっているデータ-----	P.4-10

4.2 洪水調節の観点からの検討-----	P.4-11
4.2.1 複数の治水対策案（幾春別川総合開発事業を含む案）について-----	P.4-11
4.2.2 複数の治水対策案（幾春別川総合開発事業を含まない案）について-----	P.4-14
4.2.3 複数の治水対策案の立案-----	P.4-39
4.2.4 概略評価-----	P.4-76
4.2.5 評価軸ごとの評価-----	P.4-83
4.3 新規利水の観点からの検討-----	P.4-108
4.3.1 ダム事業参画継続の意思・必要な開発水量の確認-----	P.4-108
4.3.2 水需要の点検・確認-----	P.4-109
4.3.3 複数の新規利水対策案の立案等-----	P.4-117
4.3.4 評価軸ごとの評価-----	P.4-172
4.4 流水の正常な機能の維持の観点からの検討-----	P.4-191
4.4.1 複数の流水の正常な機能の維持対策案の立案等-----	P.4-191
4.4.2 評価軸ごとの評価-----	P.4-227
4.5 目的別の総合評価-----	P.4-235
4.5.1 目的別の総合評価（洪水調節）-----	P.4-235
4.5.2 目的別の総合評価（新規利水）-----	P.4-241
4.5.3 目的別の総合評価（流水の正常な機能の維持）-----	P.4-248
4.6 検証対象ダムの総合的な評価-----	P.4-252
4.6.1 検証対象ダムの総合的な評価の結果-----	P.4-252
5. 費用対効果の検討-----	P.5-1
5.1 洪水調節に関する便益の検討-----	P.5-1
5.2 流水の正常な機能の維持に関する便益の検討-----	P.5-3
5.3 幾春別川総合開発事業の費用対効果分析-----	P.5-4
6. 関係者の意見等-----	P.6-1
6.1 関係地方公共団体からなる検討の場-----	P.6-1
6.2 パブリックコメント-----	P.6-15
6.3 意見聴取-----	P.6-30
6.3.1 学識経験を有する者からの意見聴取-----	P.6-30
6.3.2 関係住民からの意見聴取-----	P.6-44
6.3.3 関係地方公共団体の長からの意見聴取-----	P.6-52
6.3.4 関係利水者からの意見聴取-----	P.6-52
6.3.5 事業審議委員会からの意見聴取-----	P.6-53
7. 対応方針（原案）-----	P.7-1
巻末資料 「費用便益比算定」参考資料-----	巻末-1